

08 地域の課題に目を向ける

取組事例

40

地域の森林を知り、地域の木材を使おう

～ 身近だけど意外と知らない森林や木材 ～

亀山市立中部中学校 1年生



亀山木材産業協同組合の皆さんによる木材の利用に関するお話

実施時期	令和7年12月
実施場所	体育館
時間	2時限（50分×2）
対象・人数	中学1年生 202人
講師	鈴鹿森林組合 亀山木材産業協同組合
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した亀山市事業「森と木材のふれあい事業」

めざす姿	08 地域の課題に目を向ける (01 遊び・楽しむ、02 親しむ、03 興味関心を持つ、06 知識・技能を身に付ける、09 地球の課題に目を向ける)
ねらい	地域の森林の現状を知ることや木材を活用する体験を通して、身の回りの森林の課題を考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの森林が放置されることで、土砂災害が起こりやすくなることや倒木で停電が起きることなど、自分たちの生活にどのような影響があるのかを考える。 亀山市の森林を守り豊かにするため、間伐や植樹などが行われていることを学ぶ。 亀山市産の木材によるスツールを作ることで、木材の質感や香りを感じるとともに自分たちの手で地域の木材を加工する技術を身に付け、森林の利活用について考える。
学習指導要領との関連	森林資源と環境（中学生社会科） 森林資源・木材生産（中学生社会科）、二酸化炭素排出量の変化・光合成（中学生理科）、加工技術・持続可能な社会の構築（中学生技術・家庭）、社会生活と職業生活の接続（中学生特別活動）



鈴鹿森林組合の方々による森林の働きの説明



亀山市産木材の加工



完成したスツール

準備物	スツール作りキット（亀山市産木材）、インパクトドライバー、ビス
参加者の反応	<ul style="list-style-type: none"> 周りに森はたくさんあるけど、知らないことばかりだった。 スツールを完成させることができるか不安だったけれど、手伝ってもらって完成させることができ、嬉しい。 木って意外と軽いんだと思った。
保護者の反応	<ul style="list-style-type: none"> 木材を加工する体験はなかなか無いので、生徒たちには貴重な体験になったと思う。 短時間で完成するようなキットを作ってほしい、ありがたい。 亀山市には多くの森林があり、その専門家からたくさんのお話を聞くことができる良い時間だった。